

## 若狭町スタートアップ支援補助金 事業計画書

1 事業実施主体の概要			
法人名（屋号）			
事業形態	<input type="checkbox"/> 会社（株式会社・合名会社・合資会社・合同会社） <input type="checkbox"/> 組合（企業組合・協業組合） <input type="checkbox"/> 個人事業		
連絡先住所	〒	電話番号	
		メールアドレス	
事業所住所	〒	従業員数	
開業・設立年月日		資本金	
出資又は出捐構成 (上位5者の名称、出資又は出損額及びその割合)			
主たる業種 (日本標準産業分類中 分類)		事業に要する許認可・ 届出・免許等	

2 申請事業概要	
事業内容	
ターゲットとする顧客	
販売先、販売方法、販売開拓手段	
市場規模、顧客に対してどのような魅力を提供できるか。競合他社との違い。	
事業実施にあたっての課題	

### 3 費用について

補助事業実施に係る総費用	10,000,000円
補助金交付申請額	3,000,000円

### 4 実施計画

No.	実施項目名	実施内容
1	事業拠点開発	店舗コンセプトの決定
2	事業拠点開発	改装工事
3	商品開発事業	提供商品の開発
4	販路開拓事業	HP、SNS等作成
5		
6		

### 5 実施工程スケジュール

No.	令和7年												令和8年											
	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬
1		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■								
2																■	■	■						
3				■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■						
4																	■	■	■					
5																								
6																								

※実績報告書は、事業終了の日から30日が経過した日または3月31日のいずれか早い日までに、関係報告書を含めて若狭町へ速やかに提出すること。

## 6 資金計画（創業時）

（調達）

区分	金額（単位：円）
補助金	5,000,000
自己資金	2,000,000
融資等	3,000,000
その他	0
計	10,000,000

融資等先	融資等金額（単位：円）
〇〇銀行	1,000,000
〇〇信金	500,000
親族	500,000

（必要な経費）

実施項目	実施内容	事業費（単位：円）	計上根拠
事業拠点開発	改装工事	4,000,000	見積（〇〇社他3社）
商品開発	提供商品の開発	1,000,000	試作品材料費
販路拡大	H P 作成	1,000,000	見積（△△社）
事業拠点開発	厨房機器購入	4,000,000	見積（□□社）
計		10,000,000	

## 7 収支計画

	創業当初	1年後※①	売上高、売上原価（仕入高）、経費の計算根拠	
①売上高	248万円	322万円	【創業当初】	
②売上原価仕入高	87万円	113万円	①売上高（日曜定休）	
経費	人件費	70万円	88万円	昼（月～土）
	家賃	20万円	20万円	900円×25席×0.8回転×26日=46万円
	支払利息	2万円	2万円	夜（月～木）
	その他	50万円	60万円	4,500円×25席×0.6回転×18日=121万円
	③合計	142万円	170万円	（金、土）4,500円×25席×0.9回転×8日=81万円
利益①－②－③	19万円	39万円	②原価費 35%（勤務時の経験から） ③人件費 従業員1人 20万円 専従者1人(妻) 10万円 アルバイト2人 時給1,300円×12時間/日×26日=40万円 支払利息 700万円×年〇.〇%÷12か月=〇.〇万円 その他光熱費、広告宣伝費等 50万円 【創業1年後 or（事業が軌道に乗った頃、再度設備投資を行う頃）】 ①創業当初の1.3倍（勤務時の経験から） ②当初の原価率を採用 ③人件費 従業員1人増 18万円増	

			その他諸経費 10万円増
--	--	--	--------------

※① 1年後又は軌道に乗った頃又は再度設備投資を行う頃（ 年 月頃想定）

※ 必要に応じて、欄を追加、削除してください。